

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第083号(通算)

令和4年12月23日(金)発行

本日は、2学期の終業式、今年も残すところ8日となり、年内最後の校長通信となります。さて、この一年を振り返ってみると、どんな一年でしたか？ コロナ禍に始まり、コロナ禍に終えようとしています。でも、嬉しいことや楽しいことも沢山あったではないでしょうか。私たちは、楽しいことを思い浮かべると、ウキウキとした気分になり明るい表情になれます。年の瀬を楽しい・嬉しい思い出に溢れるように過ごしましょう。

皆さん よい年をお迎え下さい

終業式の校長式辞

令和4年12月23日

人間万事塞翁が馬

言葉の由来は、「淮南子(えなんじ)一人間訓(じんかんくん)」に載っています。

中国の北端、国境の「塞(とりで)」の近くに、占いが得意な「翁(おきな=老人)」が住んでいました。

あるとき、彼の飼っていた馬が逃げたので、みんなが同情しましたが、彼は「これは幸運が訪れる印だよ」と言います。

そして、そのとおり、逃げた馬は立派な馬を連れて帰ってきました。そこでみんなが祝福すると、今度は「これは不運の兆しだ」と言います。実際、しばらくすると彼の息子がその馬から落ち、足の骨を折ってしまったのです。

またみんなが同情すると、彼の答えは、「これは幸運の前触れだ」。息子はその怪我のおかげで、戦争に行かずにすんだのでした。



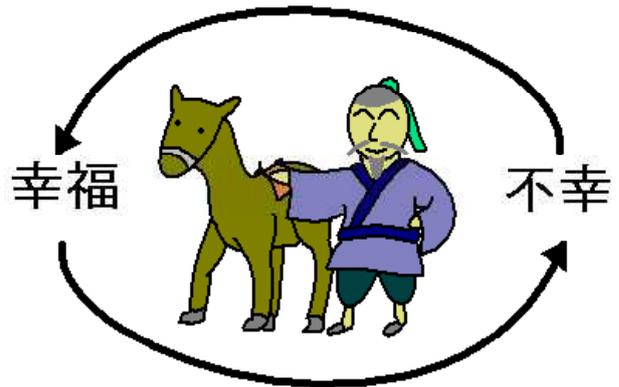
このことから、人生は、良いことも悪い事も予測できないということ。幸せが不幸に、不幸が

幸せにいつ転じるかわからないのだから、

①安易に喜んだり悲しんだりするべきではないというたとえです。

②人生においては、何がよくて何が悪いのか、後になってみないとわからない。

という意味もあります。



言葉の意味は時代と共に変わっていくので、いまでは一つ目の意味が一般的に知られているようです。

これからは、

「落ち込むのはわかるけど、

引きずらないようにね!

人間万事塞翁が馬でしょ!」

と友だちを慰めたり、

「人間万事塞翁が馬っていうように、

成績が上がったからって油断したら

ダメだぞ!」

と気持ちを引き締め、自分や友だちを鼓舞するときに使って欲しい言葉です。

「禍福(かふく)は糾(あざ)える繩(な)のごとし」

も、同じような意味で使われています。

鹿児島みらいデジタル人材育成推進事業

令和4年12月14日(水)

2年生がプレゼンテーションの技法についてMMCの有村翔真氏に講師としてきて頂き、3時間の実習講習を受けました。学んだことを総合的な探究の発表や面接等色々な場面で役立ててくれると嬉しいです。



今村学園ライセンスアカデミー出前授業

令和4年12月19日(月)

3年生のフードデザイン(午前)と2年生の家庭総合(午後)の授業で坂元香織先生を講師としてお招きし、2時間ずつ焼き菓子(フィナンシェ)制作と果物の飾り切りの実習を受けました。美味しく、楽しい授業でした。家でも、お菓子作りにチャレンジして欲しいです。



楽器指導

12月10日(土)

音楽部と川辺中学校吹奏楽部のメンバーが陸上自衛隊西部方面音楽隊の隊員から楽器演奏のレッスンを受けました。夕方からは素晴らしいコンサートを楽しみました。また、指導者の中に、私の大学の後輩がいました。



★【宣伝】★

かわなベクリスマスコンサート2022

令和4年12月25日(日)

今度の日曜日に川辺高校音楽部吹奏楽団と川辺中学校吹奏楽部、川辺小学校金管バンドが合同でクリスマスコンサートを川辺文化会館にて開催します。13時30分に開場、14:00開演です。少人数ですが、OBやOGに加え、地域の吹奏楽愛好家の皆さんの賛助出演を頂いて開催となります。沢山の人が聞きに来て、コンサートを盛り上げて欲しいです。❤️

